よかとご通信

2013年6月号

O2Farm【オーツーファーム】 大津耕太&愛梨 〒869-1501 熊本県阿蘇郡南阿蘇村両併 587

Tel&Fax: 0967-62-3730

E-mail: mail@o2farm.net

O2FarmWeb: <u>www.o2farm.net</u>



空梅雨だなぁと思っていたら、久しぶりの雨。作物にとっては恵みの雨です。皆さまはいかがお過ごしでしょうか。先月植えた苗はおおむね順調に育っています。が、O2 ファームは予想していなかった事態に直面しております。その「事態」を含め、今月はどうにもこうにも出来事が多すぎてまとめようがないため、趣向を変えて日記風にしてみようかと思います。

5/18 お米の発送が順調に終わったので、夕方から育苗箱を洗う作業の続き。来年また使うので、きれいに洗って片付けておきます。あまりに数が増えたので、去年から「苗箱洗浄機」なるものを導入しました。水路で洗っていた頃より大分ラクになりましたが、何しろ数が多い。子供たちもお手伝い。この後、乾かして束ねてから、来年まで倉庫にしまっておきます。



5/19 「半農半美容師」を目指す若者が1週間の体験研修に来ました。その前の週からは鹿児島大学の女子大生もファームステイに来ており、O2ファームが「大家族化」。さらに、夕方には今年の草取り戦士・アイガモが到着。こうなると大家族と言うより、集落に近い!?アイガモ、かわいすぎ。女子大生ちゃんもかわいすぎ。



5/21 お茶摘み。今年はたくさん助っ人がいました。お茶摘み用のハサミは1つしかないので、後はみんなで手摘み。とても暑い日だったので、午後からはハサミで刈りとったお茶の葉から小枝やムシをとる作業をしました。それにしてもみんな若い!お年寄りがこの作業をしている光景は目にしますが、これだけ若者が集まってやっているのは珍しいはずです。



5/22 夫婦そろって散発してもらいました。東京・代官山のお店にいた美容師さんに自宅のガレージで切ってもらえるなんて幸せ~!美容師さんは田舎でも需要が高いので、農業と組み合わせるにはとてもいいかもしれません。「兼業農家」の新しい可能性を感じさせてくれるイケメン研修生くんでした。カット代はお米で払わせてもらいました(笑)。



5/23 「えだもん」で有名な料理家・枝元なほみさんが取材に来ました。オレンジページネットというサイト(下記リンク)の中で18日より紹介されます。アスパラ農家さんの取材後に来られ、お土産でもらったアスパラで一品作って頂きました!とてもシンプルで、素材の味を引き出したお料理でした。



http://www.orangepage.net/op/cooking/achikochi/

5/25~ コイは既に活躍し、アイガモはにぎやかに出番を待っている間に、1回目の除草作業をやりました。水がたまりにくい田んぼには、コイもアイガモも放せません。そういう条件の悪い田んぼがけっこうあります。そんな場所では、我々人間が草取りをするしかなく。去年から導入した除草機で、田んぼを行ったり来たりします。ぬかるみなのでキツイです...

5/28 えり、世界農業遺産の国際会議に出席するため能登へ。29日に知事らとプレゼン。掛川(静岡)と国東(大分)と共に阿蘇は「世界農業遺産」に認定されました!!全国ニュースでも報道されたそう。農家の代表として会議に参加できたことは、貴重な体験でした。とはいえ、本番はこれからです。美しい阿蘇をこれからも守っていくため、全力を尽くします。

5/30 2年前に日本で初めて「世界農業遺産」に認定された 能登で千枚田と呼ばれる棚田を見てきました。ここでの農作業 は本当に大変だなぁと思う一方、世界的に価値が認められた農 村地帯として、都市住民も一緒に守ろうとしている姿が参考に なりました。トキを育む水田の存在で認定された佐渡を合わせ、 日本国内に5地域が世界農業遺産に認定されています。

6/1 励志おじ、還暦祝い。彼がいなければ、今の私たちはありません。他にも還暦や喜寿を迎える親戚がいたので、盛大にお祝いしました。都会で育った私にとっては、これぞ日本の田舎、と思えるような身内のお祝い事。こういう文化や風習も、世界農業遺産に認定された理由の一つですので、大切にしていきたいと思います。

6/4~ アイガモ進水式。いよいよ田んぼデビューです。でもとっても臆病なので、目の前に開けた田んぼになかなか入っていきません。「おい、お前さきに行けよ」「やだよ、緊張するもん」という会話をしているのかどうか。入ってしまえば嬉しそうに泳ぎ回って、泥をかき回したり、生えてる草を食べたり。いいぞ、いいぞ、がんばれ~!

6/11 朝、田んぼの見回りをしたら、アイガモの姿が見えない。壊滅状態です。足跡は野犬のものだと思われますが、1匹の仕業にしてはあまりにひどい。これほどの被害を受けたのは、11年目にして初めてです。おびただしい死骸を集めて埋葬。ショックでした。アイガモ孵化場にももう雛はいないとのことで、代わりに親ガモを譲っていただきました。苗が倒されないかヒヤヒヤしております。写真はアイガモとエリガモです!













と、いうわけで、世界農業遺産に認定と言う最高に嬉しいニュースと、アイガモ壊滅という悲惨なニュース。 1ヶ月に起きたとは思えないほどの数々の出来事。これでもまだ載せきれていないほどで、飽きの来ない毎日です(笑)。梅雨の時期はお米の管理を慎重にお願いいたします。皆さま梅雨の後に訪れる夏を楽しみにお元気でお過ごしください!